

オーバーチューブ型TV装置に据えつけた鉛ガラス遮蔽板の有用性

研究の意義・目的について

放射線科医師は、透視下で多くの検査を行っており可能な限り被ばくを低減する必要があります。本研究では新たに制作した防護器具の基礎的な性能評価を行った後に、施術・看護への影響や患者さんの心理的影響について検討することを目的としています。

研究方法

新たに制作した防護具の性能に関する基礎的検討を行ったうえで、スタッフの業務に対する影響、患者さんに圧迫感・不快感がなかったかなどについてアンケート調査を行います。

予測される利益・不利益について

新たに制作した防護器具の基礎的な性能評価はファントムを用いる関係上、人体に対して無用な被曝はありません。学会等で今回の調査結果を発表する場合には、記入者が特定されることはありません。また、共同研究者や研究の補助者が、結果の確認のため資料を閲覧する際にも守秘義務を順守するよう指導します。また、情報を公開しないよう申し出を受けた場合は外部に出しません。アンケートの内容を後日変更・訂正したい旨を受けた場合は受け付けます。アンケート調査に関する不都合が生じないよう十分配慮しますが、万が一生じた時には誠意をもって対処いたします。

個人情報の保護について

個人情報保護法及び当院の患者等の個人情報保護に関する規定を遵守して資料の保管・管理・利用等に関する措置を行います。

患者さんへのお願い

アンケートは患者さんに回答の可否をお聞きしたうえで行います。研究の主旨をご理解頂いた場合は、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、回答後であっても本研究に参加しない等の申告を受けた場合はアンケート記録を破棄します。アンケートの実施後からでもアンケートに疑問を持った場合には誠意をもって対応します。

研究結果の公表について

本研究結果は学会で発表する予定です。

費用について

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また、謝礼もありません。

研究結果の公表について

(公財)天理よろづ相談所病院 放射線部 東 慎之介(研究責任者)
電話 0743-63-5611(内線3147)

